

SimpleWebSockets サンプル

*このサンプルは Microsoft GDK (Desktop) および GDKX (Xbox) (2020 年 6 月) と互換性があります*

# 説明

このサンプルでは、LibHttpClient を使用して、Web ソケット経由でホストとの間でメッセージを接続、送受信する方法を示します。

# サンプルのビルド

XDKS.1 サンドボックスを使用する場合、サンプルは、ビルドに特定の変更を必要とせず、修正なしで実行する必要があります。

*詳細については、GDK のドキュメントの*「サンプルの実行」*を参照してください。*

# サンプルの使用方法

サンプルを実行すると、送信したメッセージを繰り返すサービスへの WebSocket 接続を開くことができます。

最初に [接続] ボタンをクリックして WebSocket 接続を確立します。 既定では、サンプルは wss://echo.websocket.org で開いているエコー サーバーに接続します。 接続すると、[メッセージの送信] を選択すると仮想キーボードが表示されるので、カスタム メッセージをエンドポイントに送信できます。[バイナリ メッセージの送信] を選択すると、バイナリ ペイロードを含むテスト メッセージがエンドポイントに送信されます。

## メイン画面

Text

Description automatically generated

# 更新履歴

2021 年 4 月の初回リリース

# プライバシー ステートメント

サンプルをコンパイルして実行する場合、サンプルの使用状況を追跡するために、サンプル実行ファイルのファイル名が Microsoft に送信されます。このデータ コレクションからオプトアウトするには、Main.cpp の「Sample Usage Telemetry」というラベルの付いたコードのブロックを削除します。

全般的な Microsoft のプライバシー ポリシーの詳細については、「[Microsoft プライバシー ステートメント](https://privacy.microsoft.com/en-us/privacystatement/)」を参照してください。